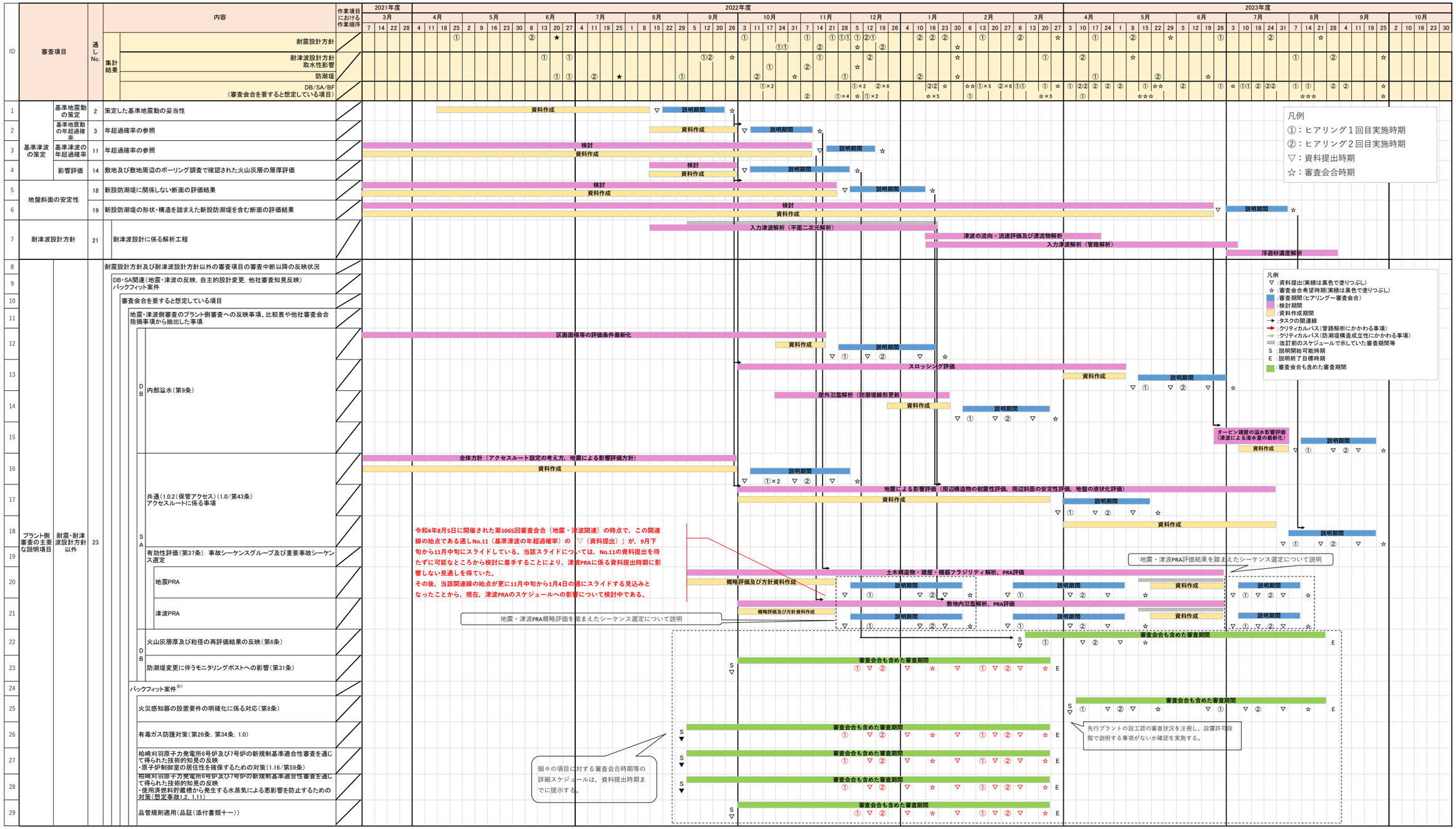
資料２

2022年9月26日
北海道電力株式会社

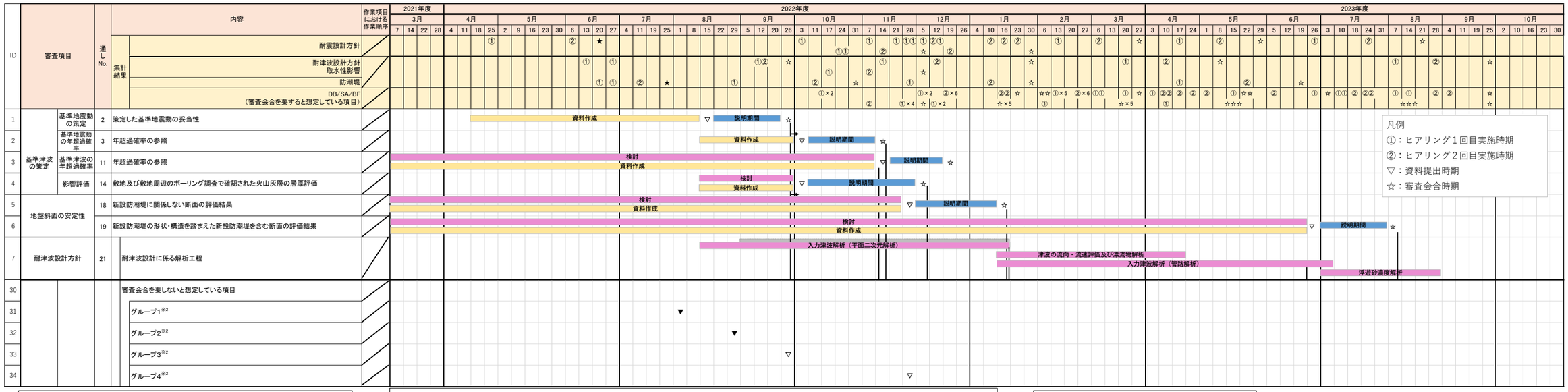
泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール



令和4年8月5日に開催された第1065回審査会合（地震・津波関連）の時点で，この関連線の始点である通しNo.11（基準津波の年超過確率）の「▽（資料提出）」が，9月下旬から11月中旬にスライドしている。当該スライドについては，No.11の資料提出を待たずに可能なところから検討に着手することにより，津波PRAに係る資料提出時期に影響しない見通しを得ていた。
その後，当該関連線の始点が更に11月中旬から1月4日の週にスライドする見込みとなったことから，現在，津波PRAのスケジュールへの影響について検討中である。

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年9月26日
北海道電力株式会社



※1　以下のバックフィット案件のスケジュールについては各条文のスケジュールの中に含む。
・「地震時の燃料被覆材の放射性物質の閉じ込め機能に係る措置（第4条）」については耐震設計方針
・「溢水による放射性物質を含んだ液体の管理区域外漏えい防止対策（第9条）」については内部溢水（第9条）
なお、本スケジュールに記載のないバックフィット案件については、設工認等で説明予定。

※2【グループ１】
・不法な侵入（第7条）
・誤操作の防止（第10条）
・安全避難通路（第11条）
・安全施設（第12条）
・全交流電源喪失（第14条）
・RCPB（第17条）
・安全保護回路（第24条）
・保安電源（第33条）

※2【グループ２】
・外部事象（第6条）竜巻に対する設計方針
・外部事象（第6条）火山事象に対する設計方針（上記スケジュール記載部分を除く）
・外部事象（第6条）外部火災に対する設計方針
・外部事象（第6条）その他自然現象等に対する設計方針
・内部溢水（第9条）（上記スケジュール記載部分を除く）
・SFP（第16条）
・原子炉制御室（第26条）
・緊急時対策所（第34条）
・有効性評価（第37条）CV温度圧力
・有効性評価（第37条）炉心　２次冷却系からの除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉補機冷却機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉格納容器の除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉停止機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS注水機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）
・有効性評価（第37条）CV　過圧破損
・有効性評価（第37条）CV　過温破損
・有効性評価（第37条）CV　DCH
・有効性評価（第37条）CV　FCI
・有効性評価（第37条）CV　水素燃焼
・有効性評価（第37条）CV　MCCI
・有効性評価（第37条）SFP　想定事故１
・有効性評価（第37条）SFP　想定事故２
・有効性評価（第37条）停止時　崩壊熱除去機能喪失
・有効性評価（第37条）停止時　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）停止時　原子炉冷却材の流出
・有効性評価（第37条）停止時　反応度誤投入
・共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（第43条）
・ATWS（1.1/第44条）
・高圧時冷却（1.2/第45条）
・減圧（1.3/第46条）
・低圧時冷却（1.4/第47条）
・最終ヒートシンク（1.5/第48条）
・CV冷却（1.6/第49条）
・CV過圧破損防止（1.7/第50条）
・CV下部注水（1.8/第51条）
・CV水素対策（1.9/第52条）
・RB水素対策（1.10/第53条）
・SFP（1.11/第54条）
・放射性物質の拡散抑制（1.12/第55条）
・水源（1.13/第56条）
・電源（1.14/第57条）
・計装（1.15/第58条）
・原子炉制御室（1.16/第59条）
・緊急時対策所（1.18/第61条）

※2【グループ３】
・内部火災（第8条）
・監視設備（第31条）（上記スケジュール記載部分を除く）
・通信連絡設備（第35条）
・火災（第41条）
・共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（1.0）
・監視測定（1.17/第60条）
・通信連絡（1.19/第62条）
・技術的能力（添付書類五）

※2【グループ４】
・有効性評価（第37条）事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定（上記スケジュール記載部分を除く）
・大規模損壊（2.1）

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年9月26日
北海道電力株式会社

週の列：2021年度 3月（7, 14, 22, 28）／2022年度 4月（4, 11, 18, 25）5月（2, 9, 16, 23, 30）6月（6, 13, 20, 27）7月（4, 11, 19, 25）8月（1, 8, 15, 22, 29）9月（5, 12, 20, 26）10月（3, 11, 17, 24, 31）11月（7, 14, 21, 28）12月（5, 12, 19, 26）1月（4, 10, 16, 23, 30）2月（6, 13, 20, 27）3月（6, 13, 20, 27）／2023年度 4月（3, 10, 17, 24）5月（1, 8, 15, 22, 29）6月（5, 12, 19, 26）7月（3, 10, 18, 24, 31）8月（7, 14, 21, 28）9月（4, 11, 19, 25）10月（2, 10, 16, 23, 30）

集計結果

集計結果	記号（週）
耐震設計方針	① 4/25, ② 6/6, ★ 6/20, ① 10/3, ①① 10/24, ① 11/7, ② 11/14, ① 11/21, ①① 11/28, ① ☆ 12/5, ②① 12/12, ② 12/19, ② 1/10, ② 1/16, ② 1/23, ☆ 1/30, ① 2/13, ② 3/6, ☆ 3/27, ① 4/17, ② 5/8, ☆ 5/29, ① 6/26, ② 7/24, ☆ 8/21
耐津波設計方針 取水性影響	① 6/13, ① 6/27, ①② 9/12, ☆ 9/26, ① 10/17, ② 11/7, ① 11/14, ☆ 12/5, ② 12/12, ☆ 1/30, ① 3/20, ② 4/10, ☆ 5/8, ① 8/7, ② 8/28, ☆ 9/25
防潮堤	① 6/20, ① 6/27, ② 7/11, ★ 7/25, ① 8/29, ② 10/11, ☆ 10/31, ① 11/28, ② 1/10, ☆ 1/30, ① 4/17, ② 5/22, ☆ 6/19
DB/SA/BF（審査会合を要すると想定している項目）	①×2 10/17, ② 11/7, ①×4 11/28, ①×2 ☆ 12/5, ①×2 12/12, ②×6 12/19, ②② ☆×5 1/16, ☆ 1/23, ☆☆ ① 2/6, ①×5 2/13, ②×6 2/27, ①① 3/6, ① ☆×5 3/20, ☆ 3/27, ① 4/3, ②② ① 4/10, ② 4/17, ② 4/24, ② 5/1, ① ☆☆☆ 5/15, ☆☆ 5/22, ② 6/5, ① 6/26, ☆ 7/3, ①① 7/10, ② 7/18, ②② 7/24, ① 8/7, ① ☆☆☆ 8/14, ② 8/28, ② 9/4, ☆ ☆ 9/25

審査項目別スケジュール

ID	審査項目	区分	内容	スケジュール
1	4条耐震	プラント	耐震設計方針（第4条，第39条）※第3条，第38条の設備の地盤への対処も含む	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
2	4条耐震	プラント	【BF】地震時の燃料被覆管の放射性物質の閉じ込め機能の維持	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
3	4条耐震	プラント	【BF】地震時の動的機能維持評価	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
4	5条耐津波	プラント	耐津波設計方針（第5条，第40条）	5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
5	5条耐津波	プラント	防潮堤	5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
6	グループ2	DB 外部事象（第6条）	・竜巻に対する設計方針	▼ 8/29, ① 2 12/19
7	グループ2	DB 外部事象（第6条）	・火山事象に対する設計方針	▼ 8/29, ① 1/10
8	保安規定で審査	DB 外部事象（第6条）	【BF】降下火砕物の影響評価	保安規定にて審査する案件のため説明スケジュールを設定せず
9	グループ2	DB 外部事象（第6条）	・外部火災に対する設計方針	▼ 8/29, ① 2 10/24
10	グループ2	DB 外部事象（第6条）	・その他自然現象等に対する設計方針	▼ 8/29, ① 2 10/31
11	グループ1	DB	不法な侵入（第7条）	▼ 8/1
12	グループ3	DB	内部火災（第8条）	▽ 9/26, ① 2 12/5
13	BF	DB	【BF】火災感知器の設置要件等に関する関係審査基準の改正	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
14	グループ2	DB	内部溢水（第9条）	▼ 8/29, ① 2 12/12
15	審査会合案件	DB	【BF】内部溢水による管理区域外への漏えいの防止	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
16	グループ1	DB	誤操作の防止（第10条）	▼ 8/1, ① 9/12
17	グループ1	DB	安全避難通路（第11条）	▼ 8/1, ① 9/12
18	グループ1	DB	安全施設（第12条）	▼ 8/1, ① 9/12
19	グループ1	DB	全交流電源喪失（第14条）	▼ 8/1, ① 9/5
20	グループ2	DB	SFP（第16条，第23条）	▼ 8/29, ① 11/14
21	グループ1	DB	RCPB（第17条）	▼ 8/1, ① 9/12
22	グループ1	DB	安全保護回路（第24条）	▼ 8/1, ① 9/5
23	グループ2	DB	原子炉制御室（第26条）	▼ 8/29, ① 11/14
24	グループ3	DB	監視設備（第31条）	▽ 9/26, ① 11/28
25	グループ1	DB	保安電源（第33条）	▼ 8/1, ① 9/5
26	グループ2	DB	緊急時対策所（第34条）	▼ 8/29, ① 11/21
27	グループ3	DB	通信連絡設備（第35条）	▽ 9/26, ① 1/23
28	BF	プラント	【BF】有毒ガス	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
29	グループ4	PRA	Lv 1	▽ 11/28, ① 12/5
30	グループ4	PRA	Lv 1.5	▽ 11/28, ① 12/5
31	グループ4	PRA	停止時	▽ 11/28, ① 12/5
32	審査会合案件	PRA	地震	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
33	審査会合案件	PRA	津波	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
34	グループ4		事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス	▽ 11/28, ① 12/5
35	×		解析コード	PWR合同で審査済みのため説明スケジュールを設定せず
36	グループ2		CV温度圧力	▼ 8/29, ※ 10/3
37	グループ2	有効性評 炉心	２次冷却系からの除熱機能喪失	▼ 8/29, ① 10/3
38	グループ2	有効性評 炉心	全交流動力電源喪失	▼ 8/29, ※ 10/3
39	グループ2	有効性評 炉心	原子炉補機冷却機能喪失	▼ 8/29, ※ 10/3
40	グループ2	有効性評 炉心	原子炉格納容器の除熱機能喪失	▼ 8/29, ※ 10/3
41	グループ2	有効性評 炉心	原子炉停止機能喪失	▼ 8/29, ※ 10/3

凡例
①：ヒアリング１回目実施時期
②：ヒアリング２回目実施時期
▽：資料提出時期
☆：審査会合時期

（スケジュール設定の考え方）
■審査会合を要すると想定している条文説明を優先する。
■審査会合案件（バックフィット案件など）は、関連条文を説明した後から説明を開始する。
■審査会合を要しないと想定している条文であっても、先行プラントでの審査期間を踏まえ、ＤＢ条文（6条、8条、9条）を優先する。

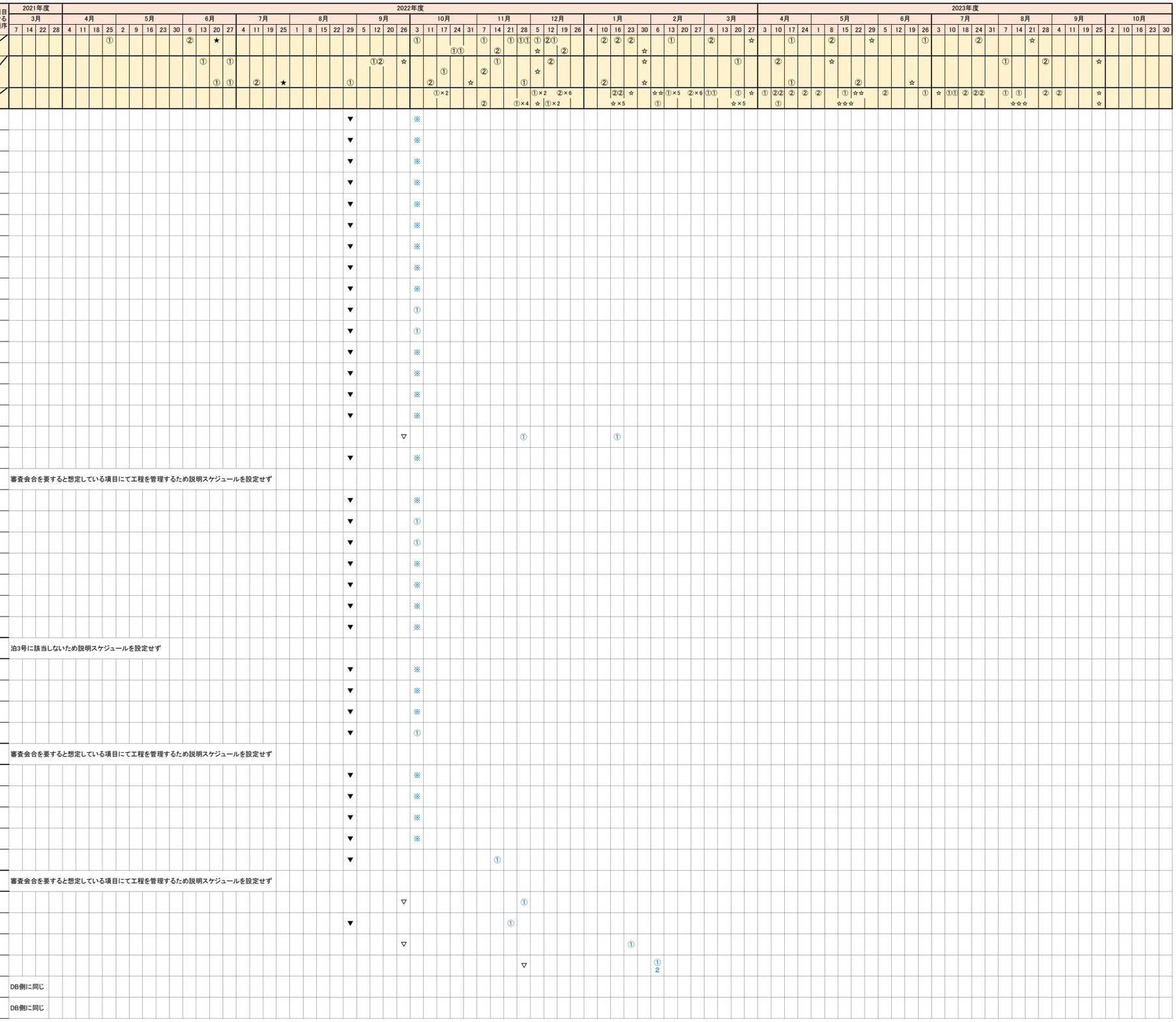
次の理由からヒアリング時期を検討中。
令和4年8月5日に開催された第1065回審査会合（地震・津波関連）の時点で，この関連線の始点である通しNo.11（基準津波の年超過確率）の「▽（資料提出）」が，9月下旬から11月中旬にスライドしている。当該スライドについては，No.11の資料提出を待たずに可能なところから検討に着手することにより，津波PRAに係る資料提出時期に影響しない見通しを得ていた。
その後，当該関連線の始点が更に11月中旬から1月4日の週にスライドする見込みとなったことから，現在，津波PRAのスケジュールへの影響について検討中である。

※は、ＳＡ関連の項目を示す。
初回ヒアリングにおいてヒアリングの流れを確認し、その後のヒアリングスケジュールを設定する。

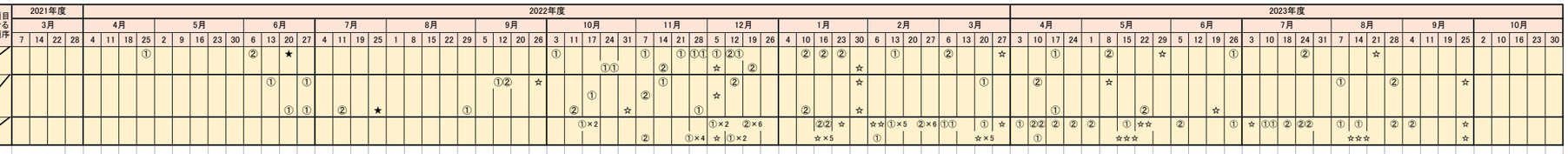
泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年9月26日
北海道電力株式会社

ID	審査項目		通し No.	内容				作業項目における作業順序
				集計結果			耐震設計方針	
							耐津波設計方針 取水性影響	
							防潮堤	
							DB/SA/BF（審査会合を要すると想定している項目）	
42	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		ECCS注水機能喪失	
43	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		ECCS再循環機能喪失	
44	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）	
45	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		過圧破損	
46	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		過温破損	
47	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		DCH	
48	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		FCI	
49	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		MCCI	
50	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	CV		水素燃焼	
51	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	SFP		想定事故１	
52	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	SFP		想定事故２	
53	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	停止時		崩壊熱除去機能喪失	
54	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	停止時		全交流動力電源喪失	
55	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	停止時		原子炉冷却材の流出	
56	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	停止時		反応度誤投入	
57	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	プラント	SA	共	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】	
58	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【43条】	
59	審査会合案件	プラント	SA	共	1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス））【1.0/43条】	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
60	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.1	44条	ATWS	
61	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.2	45条	高圧時冷却	
62	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.3	46条	減圧	
63	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.4	47条	低圧時冷却	
64	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.5	48条	最終ヒートシンク	
65	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.6	49条	CV冷却	
66	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.7	50条	CV過圧破損防止	
67	×	プラント	SA	設備・技術的能力	【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(過圧破損)			泊3号に該当しないため説明スケジュールを設定せず
68	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.8	51条	CV下部注水	
69	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.9	52条	CV水素対策	
70	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.10	53条	RB水素対策	
71	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.11	54条	SFP	
72	BF	プラント	SA	共	【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(SFP蒸気影響)			審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
73	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.12	55条	放射性物質の拡散抑制	
74	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.13	56条	水源	
75	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.14	57条	電源	
76	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.15	58条	計装	
77	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.16	59条	原子炉制御室	
78	BF	プラント	SA	共	【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(MCR居住性)			審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
79	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	プラント	SA	共	1.17	60条	監視測定	
80	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	共	1.18	61条	緊急時対策所	
81	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	プラント	SA	共	1.19	62条	通信連絡	
82	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	プラント	SA	共	2.1	―	大規模損壊	
83	ﾊｻﾞｰﾄﾞ審査			共	地質（第38条）			DB側に同じ
84	ﾊｻﾞｰﾄﾞ審査			共	地震動（第38,39条）			DB側に同じ



泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年9月26日
北海道電力株式会社

ID	審査項目	通し No.	内容	作業項目における作業順序
85	ﾊｻﾞｰﾄﾞ審査	通	津波（第40条）	DB側に同じ
86	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3		火災（第41条）	
87	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3		技術的能力（添付書類五）	
88	審査会合案件		品証（添付書類十一）	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
		集計結果	耐震設計方針	
		集計結果	耐津波設計方針 取水性影響	
		集計結果	防潮堤	
			DB/SA/BF （審査会合を要すると想定している項目）